

保育総合研究会 臨時

News

VOL.8 2020.8.11

発行人 保育総合研究会 会長 梶沢 幸苗
発行元 事務局長 社会福祉法人 東明会
飯沼こども園 理事長 東ヶ崎静仁
〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼 1276-1
029-292-6868 Fax 029-292-3831
E-mail iinuma-n@ans.co.jp

全国会員数 97名

連絡 1)7プロポジションの今後の予定(zoom 会議)

第1委員会 第1章 9月5日(土) 10時00分~11時00分

第2章 9月2日(水) 16時30分~17時30分

第3章 9月2日(水) 9時00分~10時00分

第2委員会 第4章 8月17日(月) 17時00~18時00分

第5章 8月26日(水) 17時00~18時00分

第3委員会 第6章&第7章 8月25日(火) 17時00~18時30分

※近いうちに東ヶ崎事務局長より全員に zoom 用 URL 等が送られていきます。

打田公・菊池渉・梶沢伊各委員会事務局長様、zoom 部屋の準備をお願いします。

連絡 2)保育サポートブック 0・1 歳児から5 歳児クラスの教育の zoom 会議

近日中に世界文化ワンダークリエイトより関係する本が送られていきます。現在の要領・指針及び前回の話し合いに沿って赤入れをして、遅くとも9月2日にはワンダーに到着しているようにしてください。それをもとに下記の会議をします。何卒よろしく申し上げます。不明な点は 坂崎まで

会議日 9月3日(木) 16時30分～19時00分 担当 坂崎

※各年齢別約30分程度の確認の話し合いです。

0.1 歳児担当	16時30分～17時00分	担当者	福澤・栳沢香・青木・栳沢さやか
2 歳児担当	17時00分～17時30分	担当者	東口・高月・秋山・栳沢さやか
3 歳児担当	17時30分～18時00分	担当者	田和・遠藤浩平・岩橋・坂崎力紀
4 歳児担当	18時00分～18時30分	担当者	矢野・森本・永田・坂崎り
5 歳児担当	18時30分～19時00分	担当者	只野・平山・田中・坂崎り

※近いうちに東ヶ崎事務局長より全員に zoom 用 URL 等が送られていきます。

菊池さん zoom 部屋の準備をお願いします。

報告 1)再度 7プロポジションの章立て概略をお知らせします。

(これまで4回の会議における途中報告をお知らせします)

各委員会でまとめ方が違いますのでご了承ください。

第1章 人口動態 乳幼児教育・保育の課題とそのアプローチ 次回 9/5 10時				
No.	テーマ	内容(例)	執筆担当者	意見担当者
1	・今後の人口動態と2040年の社会の在り方	・日本の深刻な三元化とその格差(待機・普通・過疎地)	松永和孝	東口房正
2	・乳幼児期の環境	・過疎地の問題(少ない園児数に対する施設の在り方) ・2040年の大都会問題(待機児童とか)	今野真洋	打田修子
3	・省庁三元化の問題と再編	・子ども省の創設 その経過をどう考えるか	原本宏志	東ヶ崎静仁
第2章 これからの乳幼児施設の役割 次回 9/2 16時30分				
4	・社会・地域のすべての子供を見る施設の在り方	・就労に関係ない施設 ・保育の主体者(権利者は)はこどもである ・教育と保護を受けられる施設	勇まり子	坂崎隆浩
5	・どういう教育・保育を用意すべきか	・園児は何歳から入れるべきか ・満1歳児になったら就労に関わりなく園に入るメリットと仕組み	平山猛	坂崎力紀

		<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から積み上げられ、全ての施設が学校教育に位置付けられている仕組み ・5歳児の教育の義務化 ・1歳児からの保育の義務化 ・満3歳児問題 障害児関係 ・入所してない家庭保護者や子供への支援・障害や病児 		
第3章 望ましい施設の一元化と施設に必要な職員等 9/2 9時				
6	・施設の一元化	<ul style="list-style-type: none"> ・総合施設化してこども園と称した中で現行の幼稚園や保育所を包含する。全ての子育て支援を包含するのは難しいか。但し、小規模等は一考必要。1・2・3号+0号保育 	松永和孝	東口房正
7	・役職と保育教諭の専門職としての格付け	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの施設での必要な職員を検討する ・園の規模による職員の在り方を検討 ・保育所も含め園長の在り方 園長の必須化と園長になる為のキャリアアップ 教頭・副園長の意義と存在 教頭による計画等を含む指導者としてのキャリアアップ 園の規模による副園長の配置 (副園長は保育的な人も事務長的な人もキャリアアップとして進めるようにする) 現主幹保育教諭と主任保育士の統合 保護者の子育て支援はとどめるとしてキャリアアップの中心 保育教諭と保育士の名称統合と働き方(名称統合と名称独占) 	坂崎力紀	田和由里子

		看護師・栄養士・事務・保育補助・用務員の必要性 看護師等はある大きさから必須 栄養士等大変重要な役割 事務も大変重要な役割 保育士等の助手は、保育教諭周辺作業や研修等を考えても 必要		
8	・新たな職種 消える職種	子育て支援士・保育カウンセラー 地域の子育て支援や保護者支援の専門家 障害児支援者 これは絶対必要 記録者 労務士 会計士の在り方 病児関係は その他 ・職員として何が必要かこれは重要な事項	倉内真理	打田修子
9	・保育者の働き方の提言	・20年後の働き方を模索 今すぐできることと今後は正 様々な働き方を提示 オンラインをどう生かして今なのか 1日の労働時間 1週間の労働日数 テレワーク 事務仕事	打田公平	東口房正

◇第1委員会 『主に社会・地域に必要な乳幼児期の施設等』 11名

委員長 坂崎 力紀（青森）副委員長 松永 和孝（熊本） 今野 真洋（秋田） 勇 まり子（三重）

事務局長 打田 公平（岩手）事務局長次長 倉内 真理（青森）

アドバイザー ☆平山 猛（熊本） 田和 由里子（広島） 原本 宏志（青森） 打田 修子（岩手） 東口 房正（大阪）

第2委員会『主に教育・保育について』

第4章 要領と指針の一元化及び評価の在り方

担当メンバー 委員長：高月美穂 副委員長：吉本大樹、高月善徳
事務局：菊地渉 アドバイザー：福澤紀子、岩橋道世、百瀬浜路

- 2025年こども（保育）要領作成に向けて
 - ・保育とは乳幼児教育である
 - ・2040年のスマート保育に向けて
- 現要領・指針の精査
- 一元化へ向けて（養護と教育の理解）
 - ・0歳からの発達連続性
 - ・乳幼児教育の理解と小学校の接続
 - ・子育て支援、食育、災害等
- 子ども保育要領作成
- 評価制度等の構築

上記項目の中身に対してご意見がある場合は、8/14までに事務局（菊地）まで連絡をお願いいたします。取りまとめて次の会議の資料とさせていただきます。送り先：境いずみ保育園 菊地渉メール：izumi.breeze@gmail.com

次回 8/17 第4章 17:00~18:00

第5章 保育教諭と園児の定数と教員資格化と働き方

担当メンバー 委員長 長：高月美穂 副委員長 長：本田小百合

事務局 長：菊地渉、加藤要貴 アドバイザー：田中啓昭、隅崎哲也

- 発達から見る望ましい定数の考え方
 - ・ 現行の定数と理想的な定数と保育環境
- 保育と計画の分業化
- 教員・教諭資格の在り方
- 研修の在り方
- 保育教諭の働き方

上記項目の中身に対してご意見がある場合は、8/14 までに事務局（菊地）まで連絡をお願いいたします。取りまとめて次の会議の資料とさせていただきます。送り先：境いずみ保育園 菊地渉メール：izumi.breeze@gmail.com

次回 8/26 第5章 17:00~18:00

◆第2委員会『主に教育・保育について』11名

委員長 高月 美穂（大分） 副委員長 吉本大樹（熊本） 本田小百合（熊本） 高月善徳（大分）

事務局長 菊地 渉（茨城） 事務局次長 加藤 要貴（長野）

アドバイザー ☆田中 啓昭（大阪） 岩橋 道世（大分） 隅崎 哲也（鹿児島） 百瀬 浜路（埼玉） 福澤 紀子（青森）

第3委員会『主に制度について』 ※簡単な文章を栲沢伊知郎さんに8/21⇒8/22にメールで返送

第6章 待機児童地域と中間地域と過疎地域の施設や保育の方法及び保育事業

- 基本的地域共生社会の実現 矢野⇒坂崎
 - ・インクルージョン
 - ・共生・協働・公助・連携
- 地域の在り方、捉え方(待機児童地域・中間地域・過疎地域)
 - ・待機児童地域： 青木・田口
 - ・中間地域： 菊地・拓樹
 - ・過疎地域： 栲沢伊知郎・伊東
- これから求められる補助事業 拓樹 ⇒永田
 - ・整備補助事業
 - ・その他
- 現行制度の見直しと改善 塩坂⇒坂崎
 - ・子育て支援事業(認可)、子育て支援センター
 - ・土曜日保育
- 保育・教育の運営におけるリスクマネジメント 青木⇒矢野
 - ・感染症
 - ・自然災害
 - ・人災

第7章 財源と今後の法人の在り方

- 法人運営における財源について 伊東⇒東ヶ崎
 - ・積み上げ方式等の堅持をどう考えるか
 - ・公定価格の在り方をどう考えるか
 - ・内部留保の必要性
- これからの法人の在り方 永田 さやか
 - ・学校法人と社会福祉法人・連携法人について
 - ・無認可等の在り方(小規模、企業型)
 - ・法人としての経営(まとめ)

- 再度社会インフラ保育所等の位置づけ 田口⇒古川
 - ・三本立ての是非
- 現行制度で 2040 を迎えるために 古川⇒栞沢
 - ・生き残るに先を見据えた行動
- まとめ 伊東⇒坂崎

次回 8/25 第 6-7 章 17:00~18:00

◇第3委員会 『主に制度等』 12名

委員長 伊東 俊樹（新潟）副委員長 青木恵里佳（東京）菊池晃（岩手）東ヶ崎拓樹（茨城）

事務局長 栞沢伊知郎（青森）事務局次長 田口 侑平（神奈川） 渡辺 謙（茨城）

アドバイザー ○永田 久史（大阪） 矢野 理絵（熊本）古川 豊（熊本）栞沢さやか（青森） 塩坂 北斗（東京）

最後に これもあります。

- ◎2040 までの工程表 伊知郎+各委員長+事務局
- ◎1 章から 7 章まとめと提言 各委員長+事務局

報告 2)保総研 第3回 三役・事務局 zoom 会議

日時 令和2年8月4日(火) 13:00-14:00 報告と審議他

出席 椋沢・森田・田和・東ヶ崎・菊池・坂崎 伊東(欠)

議案 1.7 プロポジションの報告と今後の進め方について(坂崎説明)

◆7 プロポジション全員説明会 7/29 (水) 9:30-17:00

◆委員会(グループ会議) 章立てと今後の予定は前頁を参照

第2委員会 8/3 (月) 第3委員会 8/4 (火) 第1委員会 8/5 (水) 16:30-18:00

2.保育サポートブック 年齢別クラスの教育改訂版について

◆7 サポートブック zoom 説明会 7/29 (水) 17:00-18:00 今後の予定は前頁を参照

上記の三役会で今後の進め方を決定し、世界文化社に連絡をしました。

4.その他

- ・来年度 2021.6/10-12 日本保育協会全国大会「保育を高める研究集会」 in 青森の分科会に保総研の保育科学の発表が決定しました。福澤先生を発表者として推薦決定しました。
- ・20周年記念誌を作成については遠藤浩平編集長と坂崎電話会談をしました。コロナの状況を鑑みていずれの時期に仙台等で話し合いましょうという事になりました。

三役会議の議案 3. 今後のオンライン定例会及び研修・年次大会について提案

このような時期ですので、定例会を通常で行うことはなかなか難しいと考えられます。

これらを鑑みて**来月9月に初めてのオンライン定例会を開催することにします。**

(1回目は講師を呼ばずに会員限定でしますので無償で考えています)

最初の段階では会員の多くの方に参加してもらうことを目的とするので、ほぼ聞くだけ(見るだけ)のようになると思いますが、ご了解ください。

時間は挨拶を含めても13:00時からの2時間程度と考えています。

次回臨時 News にて日程をお知らせします。たくさんの方に参加してもらえたら有難いです。(zoom 導入がわからない人は学研さん等業者にお願いして入れてもらったらいいですよ。もちろん何も入れなくても当日でも対応できるようにはしますが)

今のところ、年次大会はいつもの集合研修を計画していますが、当分の間、オンライン定例会及び研修会を計画して進めてまいります。

☆2020 年 令和 2 年度定例会等事業予定

2020.9/10 13:00～ 第4回三役・事務局 zoom 会議 議案オンライン定例会他

今回の情報提供 P1 連絡 zoom による7プロポジション会議予定

P2 連絡 年齢別サポートブックドキュメンテーション zoom 会議予定

P3-9 報告 7プロポジション会議報告 章立てと項目について

P9-11 報告 第3回三役・事務局会議の報告 『オンライン定例会の開催を?』

P13 『保総研の歴史 No.8』今さらながら どうして

中四国の雄 筒井さんと田和さん(ここは坂崎の勝手な思いを書いています。ご勘弁を)

P14 編集誤記 ご意見お待ちしております

当会 HP アドレス http://hosouken.dip.jp/hskblog/_trashed/

◆ 次回No.9 を 8/28 に広報する予定です。内容はオンライン定例会&研修会についてです。

『保総研の歴史 No.8』今さらながら どうして 中四国の雄 筒井さんと田和さん



四国と言え、歴史上の人物No.1 は坂本龍馬だ。世に出したのは司馬遼太郎だが、実はその原型は高知の新聞記者坂崎紫瀾が紹介したので、小さい時から勝手になんとか誇らしかった。その後香川の忽那や愛媛の武智と青年部で出会った。実は香川にも愛媛にも親戚がいたこともあり、意外に行く機会があった。そんなこともあって、結局一番行かないのが徳島だった。阿波踊りやら考え

Japan

Association of 連合(すること)

Multidisciplinary Research for

多くの学問領域にわたる 研究

Early Childhood Care and

Education

てみたら、超有名なのだが、しかし面白いもんで今は筒井がいるだけでもなんとなく近い。青森市に筒井という古くからの地名があるので、覚えやすかったのかも知れない。彼女は本当に勉強家だ。筒井に出会って30年近くになるのに殆ど変わっていない。あーもちろん見た目の事だ。いわゆるこのママさん「美魔女」なのだ。多分、夜な夜な、リンパマッサージに励んでいるのだと思う。もしくは、阿波踊りでシェーブアップを図っているか。あの水分はたぶんお酒とカボスなんだろうなと思う。さて広島の話も一つ。7月22日BS3に重松清の「とんび」がたぶん10年ぶり近くに再放送されていた。名作の上に、堤真一主演だからかも知れないが、久しぶりにやられた。なかなか書きにくい父子の作品だが、是非ともみんなに読んでもらいたい。なんといっても広島あたりの言葉の持つ雰囲気は、若い時の堤さんは高橋英治にしか見えないし、少し年をとった感じは田和のお父さんの山口さんにしか「見えなかった。」私はあまり人の影響を受けないが、山口さんは別だ。彼のようになりたいたいと思っていたし、畏敬という言葉がもっとも似合う男だった。山口さんが保育所出身でないことが、子育て支援など新しい事業が出来たのだと思うし、彼の先見性は今も学ばなければならない。その意思是、高橋が見事に受け継いで活躍している。「じゃけん」実際にはそれらを見事に保育化した田和の手腕は今更ながら頭が下がる。彼女が「ゆり姉」と呼ばれ、沢山の人に慕われているのは、人格はもちろのことだが保育者としても超一流だからと思っている。私にとっては中国地方と言え福山市を指すし、ちなみに田和の息子さんは日保本部に務めたから皆さんよろしくだ。筒井と田和の話をしたが、今後の中四国の他の方々に是非ともご参加願いたいと思うと付記しておく。

編集誤記

7プロポジション始まりました。Zoom 等による一部の心配をよそに、ジャミーズが中心となって進められている。頼もしいし有難い限りだ。手法は沢山あれど、現在をみつめ未来を語ることは、いつの時代でも大事だ。このことが例えば今の「生き残る社福の保育所」を生んできた。しかしもう幼稚園も無認可も同じ土俵だし、施設入園していない全ての子供にも私たちの支援が必要だ。又これらを支える保育者としての資質や人材、働き方はどうあらねばならないか、制度にも保育内容にも課題は山積している。どんな未来を白地に描くのか、ご期待ください。保総研の果たすべき役割はまだまだ続く。その

の思いが未来を変えます。 当会 HP アドレス http://hosouken.dip.jp/hskblog/_trashed/

この広報に対する内容については下記に電話等でご連絡を頂けると有難いです。

担当：〒039-4222 青森県下北郡東通村砂子又大字沢内 9-35

保育総合研究会 副会長 坂崎隆浩 携帯：090-6252-3699

メール/kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp

(こども園ひがしどおり FAX: 0175-31-0203)

- ・ 8/1 株式会社世界文化ワンダークリエイトによるサポートブック研修(坂崎講師)がありました。平素よりお付き合いしている園長先生の職員をはじめ、例えば茨城の愛(かな)保育園の羽持先生の園や秋田の藤井みはとさんの園や森本裕貴子(結婚して現在は永田)など 20 都道府県 27 園 44 名参加をいただきました。心より御礼を申し上げます。